

広域連合、関西経済連合会等)の協力も得て「地域文化創生本部」を設置し、文化に関する政策調査研究、地域の幅広い文化芸術資源の活用による地方創生、食文化など生活文化の振興、文化財等を生かした広域文化観光など、京都、そして関西の方々とも手を携えながら、新たな政策ニーズ等に対応した取組を進め始めています。

## (2) 本格移転に向けた取組

今後、遅くとも令和3年度中を目指すこととされる京都への本格的な移転に向け、テレビ会議システム等のICTを活用した業務効率化など、遠隔で行う業務の試行・改善の検討を行い、我が国全体の文化行政の更なる強化につなげるべく、引き続き関係省庁等と連携しながら、準備を進めてまいります。

# 第3節 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラム

## 1 文化プログラムの展開について

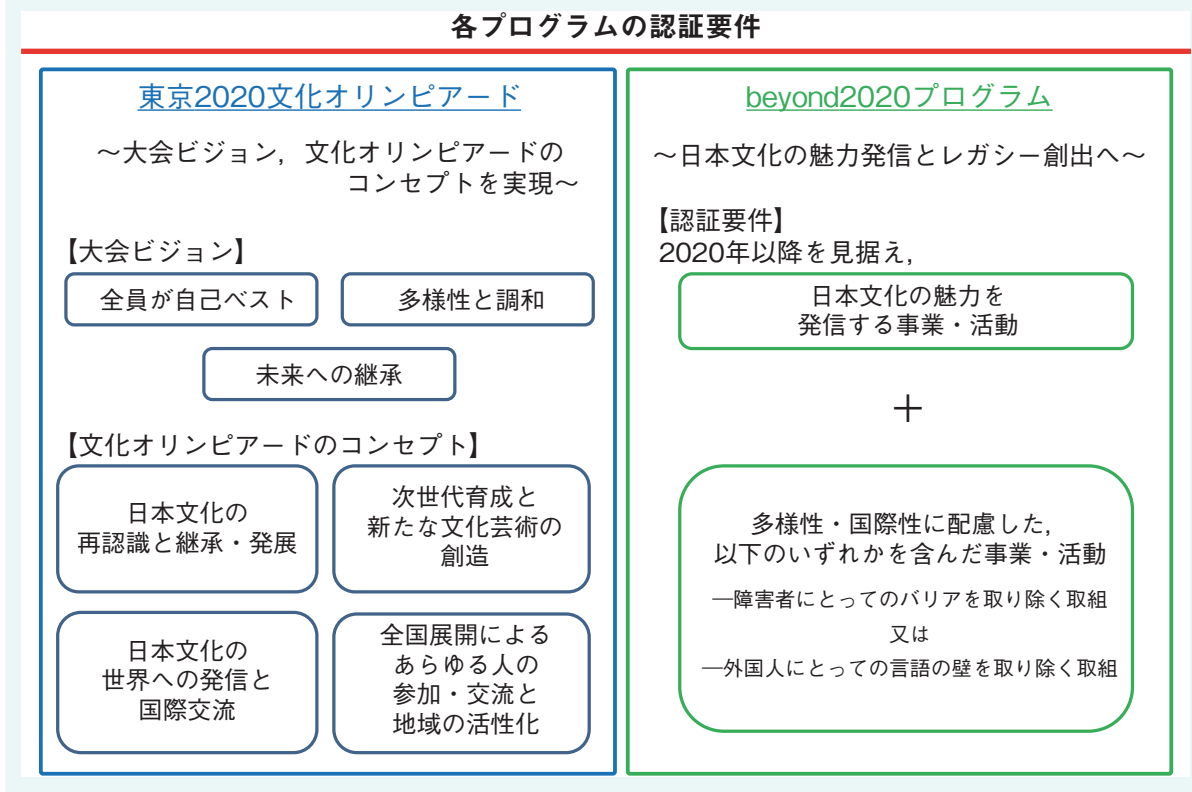
文化の祭典でもある2020年東京大会は、魅力ある日本文化を世界に発信するとともに、地域の文化資源を掘り起こし、地方創生や観光振興の実現にもつなげる絶好の機会となります。

こうした中、2020年東京大会に向けて、「東京2020文化オリンピックアード」や「beyond2020プログラム」といった文化プログラムの取組が進められています。これらは大会ビジョン等を踏まえ、日本文化の再認識と継承・発展、次世代育成と新たな文化芸術の創造、日本文化の世界への発信に資する取組や、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出を見据えた取組に対して認証を行うものです。

これらの取組を通して、我が国の文化芸術が一層振興され、更に日本全国で2020年東京大会の機運が大いに高まることが期待されています。

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		中央省庁，地方自治体
プログラム	東京2020文化オリンピックアード		beyond2020プログラム
	東京2020公認文化オリンピックアード	東京2020応援文化オリンピックアード	
概要	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム 東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム 非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。	2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム 営利・非営利を問わず多様な団体が実施。 ※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可
実施主体	組織委員会，国，開催都市，会場所在地地方公共団体，公式スポンサー，JOC，JPC	会場所在地以外の地方公共団体，独立行政法人を含む非営利団体	文化オリンピックアードの実施主体に加えて，公式スポンサー以外の企業も対象
ロゴマーク			

図表5 各プログラムの認証要件



## 2 文化庁主催による主な文化プログラム

文化庁としても、2020年東京大会の機会を活かし、文化芸術立国の実現に向け、様々な主催事業を展開すること等により、文化プログラムの推進を図っています。

平成30年度には、全国6か所の寺社仏閣や日本庭園等において、日本の大衆芸能である落語を上演する「ジパング笑楽座」をはじめとして、様々な文化プログラムを展開しました。「ジパング笑楽座」においては、簡単な英語とイラストによる独自の字幕システムを活用し、外国人や子供、初めて落語に触れる人も楽しめる新たな試みに取り組みました。

また、文化プログラムの普及等を目的として、全国4か所において、「2020年とその先の未来に向かって」をテーマにシンポジウムを開催するとともに、全国各地の文化プログラム等の情報を広く収集し、インターネット上で管理・集約する「文化情報プラットフォーム」の試験的な構築にも取り組みました。この「文化情報プラットフォーム」の情報を基に、文化プログラム総合ポータルサイト「Culture NIPPON」\*1を試験的に構築し、運用しています。



独自の字幕システムを活用する「ジパング笑楽座」  
(福島県いわき市)

## 3 「日本博」について

文化庁では、2020年東京大会を契機とする文化プログラムの中核的事業として「日本博」

\*1 参照：<http://culture-nippon.go.jp/ja/>

を展開しています。「日本博」は、関係府省庁や地方公共団体、文化施設、民間団体等の関係者の総力を結集し、縄文時代から現代まで続く日本の美を各分野にわたって体系的に展開していく大型プロジェクトです。「日本人と自然」という総合テーマの下に、各地域が誇る様々な文化資源を年間通じて体系的に創成・展開するとともに、国内外への戦略的広報を推進し、文化による国家ブランディングの強化、観光インバウンドの飛躍的・持続的拡充を図ります。

平成31年3月に「旗揚げ式」を開催し、当日は、「日本博」ロゴマークの発表や文部科学大臣による開幕宣言などを行いました。



「日本博」旗揚げ式の様子（国立劇場大劇場）

## 第4節 舞台芸術活動等の推進

### 1 舞台芸術等の創造活動への効果的な支援

我が国の文化芸術の振興を図るため、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能といった分野の芸術水準の向上の直接的な牽引力となる公演を重点的に支援するとともに、各分野の特性に配慮した創造活動を推進しています。平成30年度は、年間活動支援型36団体、公演事業支援型153件を支援しました。

また、「戦略的芸術文化創造推進事業」として、芸術団体等からの企画提案を受けて行う実演芸術の水準向上のための取組や、障害者の優れた芸術活動の調査研究や海外への発信等を58件実施しました。